

# 第17回 わいわいがやがやサミット

6/29

「までいな田舎暮らしを求めて」



▲サミットの様子

「わいわいがやがやサミット」が「小宮コミュニティセンター」で開催され、7行政区（佐須、大倉、八木沢・芦原、比曽、長泥、蕨平、小宮）から約50人が参加しました。

はじめに、開催地である小宮行政区の渡邊守男区長があいさつした後、東京都から小宮地区に移住した横山正由さん、みち子さんご夫妻をはじめ、秋田県や埼玉県から移住した4世帯の方が「までいな田舎暮らしを求めて」をテーマに体験講和を行いました。

このうち、「移住で不安は無かったか」との質問に対し、横山さんは「移住を決めたとき周囲からは「病気になるだろう」と心配されたが、私たちは、安全な食や環境を求めて健康になるために村に来ました」と話していました。

参加者らは、今後の地域活性化や対策などについて理解を深めていきました。

その後、民話や舞踊を交えた懇親会が行われ、参加者らは地元食材のみで作られた料理に舌鼓を打っていました。



▲講話された方々（写真左から）三角常雄さん（埼玉県より）、鮎川邦夫さん（秋田県より）、横山正由さん、みち子さん（東京都より）

移住者の方に伺いました（抜粋）  
飯館村に足りないものは何だと思えますか？



▲地元の食材のみを使って料理（たけのこご飯、わらびのたたき、ルバーブ酵母の小麦パン、ブロッコリーと豆乳のポタージュ、天ぷら、漬物など）

- 農産物の値が安く、生産者として割りが合わない。生産者へのさらなる支援が必要。
- 飯館牛は高価。ふだん口にしないものが特産品では難しいのでは。気楽に食べられるものも必要ではないか。
- 村民の方は自分たちの話をするとき、「田舎が不便」などマイナス面を強調するように思う。不便でもいい所があるし、何より自然が豊か。村の良い面をもっとアピールすべきでは。
- スポーツ環境もいい場所なので合宿所の整備など、村の目標を1点に合わせてイメージアップをするべき。

## お知らせ

### 個人事業税の納税をお忘れなく

個人事業納税は、県内に事務所・事業所を設けて物品の販売業や不動産貸付業などの事業を営んでいる方に治めていただく県税です。

相双地方振興局から送付される納税通知により、第1～2期の2回に分けて治めていただくことになっていきます（ただし、年税額が1万円以下の場合は一括納付）。詳細はお問い合わせ下さい。

### 便利な口座振替をご利用ください

個人事業納税は、口座振替納税が可能です。納税通知書に同封された依頼書（預金口座振替依頼書・納付書送付依頼書）に必要事項をご記入の上、金融機関にご提出下さい。その後、金融機関から返送された「納付書送付依頼書」を県税部に提出するだけで手続きは終了です。詳細はお問い合わせ下さい。

問相双地方振興局県税部納税チーム（☎26-11124）

# みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



## 夏の事件・事故防止運動キャンペーン

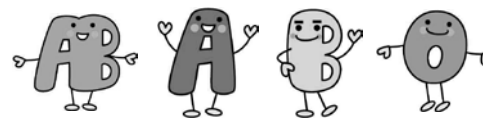
7/18

村生活安全協議会交通部会と防犯部会が主催の、「夏の事件・事故防止運動キャンペーン」が、今回初めて、児童を対象に各小学校の敷地内で行われました。

この日、南相馬警察署の佐藤署長や交通安全関係団体の会員など40人が、1学期の終業式後、下校する児童らへ、交通安全・防犯の冊子や啓発グッズを配り、夏休み中の生活の安全を呼びかけました。



▲児童らに夏休み中の生活安全を呼びかけたキャンペーンの様子（白石小）



7/10

## 愛の血液助け合い運動キャンペーン

今年度の「愛の献血助け合い運動」に合わせて県の薬務課の木内課長ら2人と、福島県赤十字血液センターの村田課長が、役場を訪れ、村長に「献血への理解と協力」を呼びかけました。



▲献血への協力を呼びかけたキャンペーンの様子

### 《今後の献血日程》（移動採血車による）

- ① 8月21日(木)
- ② 11月18日(火)
- ③ 2月13日(金)

※巡回場所等の詳しい日程は「お知らせ版」でお知らせします。

7/2~7/3

## 中学生が職場体験学習

飯館中学校の全校生徒が、総合学習の一つとして、村内外の公共施設や事業所、福祉施設など農家など30カ所以上に分かれて、2日間の職場体験を行いました。

このうち、「もりの駅まごころ」で接客や商品の並べ替えなどを体験した2年生の高野瑛里さん（長泥）は、「接客は難しいと感じましたが、商品の並べ替えはやりがいがありました」と笑顔を見せていました。

この職場体験学習を通して、生徒たちは働くことの大切さや苦労について理解を深めていきました。



▲レジ打ちを体験する生徒（もりの駅「まごころ」）





▲モーターボート湖上遊覧

今年で17回目を迎えた「はやま湖」森と湖まつりが大倉の真野ダム周辺を会場に開催されました。このまつりは、森林やダムの役割・重要性について広く知ってもらうことを目的に、真野ダム事務所などが「森と湖に親しむ旬間」期間中に開催しています。

まつりでは、ダム施設や取水トンネル見学、森林教室、ポニー乗馬体験、モーターボートの湖上遊覧などが行なわれ、なか



▲ダムの放流

でも湖上遊覧は子どもから大人まで人気を集めました。

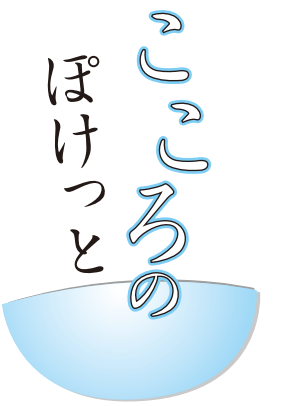
また、地元行政区による出店や特産品販売コーナーも設けられ、テントの前は多くの家族連れなどで賑わいました。



▲大倉行政区の出店



▲ポニー乗馬体験



「美しい村づくり」に向かって

2年程前に「美しい村づくり」を進めている自治体が、勉強し合おうじゃないかという全国組織が出来ました。多分まだ15、16の町村だったような気がしますが、飯館村はまだこの組織には入っていません。

飯館村は、現在あいの沢が県の「緑の百景」と「遊歩道50選」に、「県百名山」には野手上山、花塚山、山津見山が、そして先日、比曾の水芭蕉が「福島遺産100選」に選ばれています。

私は以前から「飯館村の36景」とか「残しておきたい20景」などという催しが出来ないものか思っていました。皆でその景観を守りながら絵葉書を作ったり、活性化に使えるのではないかと。

先日、久しぶりに長泥峠を下る機会がありました。以前、小さな紫陽花の苗木を見ながら通ったのですが、今回は大きく育ち、青や紫の見違えるような美しい紫陽花ロードとなっていました。

した。

春は桜、今の時期は紫陽花と、心が和み、癒される「いろは坂」ならぬ「長泥坂」への大変身です。

この峠は「村の〇景」にも必ず入る場所になるはず、と改めて以前の考えが思い出された長泥峠でした。

聞くところによると、この紫陽花は今から10年位前に話が持ち上がったそうです。

全家庭に「鹿沼土」一袋を配付し、各家庭で差し芽をして育てて、今に至っているそうです。毎年、何回となく苗木を切らないようにしての草刈など面倒この上ない作業ですが、自分たちの地域の資源を生かしているという強い意志があつて進められているものと思われま

す。

この峠は、これから10年先、いや20年、30年先、長泥はもちろんのこと、村のすばらしい名所となり、財産となるはずだ。

何を進めるにも困難は必ず付き物です。いろんな意見も出ますし、後ろ向きの動きもあるかもしれません。

—そこをどう進めるか？

目先の損得よりも大所、高所の考え方や長期的視点をもって自分の地域や村を良くしていくことという熱い思い入れをもってリードしていくことの大切さを教えられたような気がしました。

平成20年7月29日

飯館村長 菅野 典雄

「いいたて・までい・ユニット」改め…  
「いいたて・までいな村づくり  
応援スタッフ」へ  
6/28 いいたて・までい・ユニット総会



▲新しいスタッフ活動の協議が行われた総会のようす

一層の村づくりのために

村の応援団「いいたて・までい・ユニット」の総会が開催され、会員ら27人が参加しました。

総会では、平成19年度の活動報告及び決算報告の後、平成20年度以降の活動にあり方について協議しました。

「までい・ユニット」は、「までいな村づくり」に共鳴し応援したいと

いう思いを持った方たちがつどい、平成18年7月に設立されました。この間、飯館村や村民を知る探検活動、日本再発見塾を始めとするイベントの応援、教育や直売所の振興策などに対して様々な応援をいただきました。

これらを踏まえ村としては、一層の村づくりへの応援をいただくために、までい・ユニットを発展的に解散し、スタッフ活動へ移行することにしました。

新しい活動のメンバーは、までい・ユニット会員であった方々を始め、飯館村の村づくりに共感する方に、村長が参加を依頼します。

応援活動は、村からの要請によって、イベント等への参加・協働、応援スタッフの専門的な知識・特技等を村や地域の課題解決に結びつけるための意見交換会への参加、各種協議会などの委員への起用等を考えています。

誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ 親の氏名 行政区

高橋 莉子ちゃん	昭博・チカ子	関	沢
三浦 茉奈ちゃん	重教・由加利	小	宮
菅野 葵彩ちゃん	昌彦・喜久	宮	内

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名 行政区

鳴原 清亮	長	泥
石川 久美	福	島
遠藤 均	比	曾
高橋 理恵	長	泥

いつまでも幸せに

おくやみ

氏名	年齢	行政区
江藤 源次郎	92	小宮
熊谷 芳直	62	飯桶
門馬 功	80	八木沢・芦原
佐藤 フジイ	91	伊沢(二枚橋)
高池 まつ代	90	草桶
古川 喜代子	73	飯桶
戸内 信	78	大比
佐藤 務	19	小
高野 マツイ	92	小

ご冥福をお祈り申し上げます

(6月21日から7月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき  
(平成20年7月1日現在)

人口	今月(前月比)	昨年同期
男	3143人 (-5人)	3214人
女	3171人 (+1人)	3256人
計	6314人 (-4人)	6470人
世帯数	1697戸 (+0戸)	1731戸

◆◆6月1日~31までの人口動態◆◆  
 転入 16人 転出 16人  
 出生 2人 死亡 6人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)